

インフルエンザ流行注意報発令

○ 発生状況

感染症発生動向調査(速報値)では、インフルエンザ患者の定点あたり(47定点医療機関)の報告数が、令和元年第51週(令和元年12月16日～令和元年12月22日)で11.64人となり、流行注意報発令の基準値である定点あたり10人を上回りました。

今後、さらに流行が拡大する可能性があるため、本日(12月25日)「インフルエンザ流行注意報」を発令しました。例年に比べて早い発令となり、第51週でのインフルエンザ流行注意報の発令は2014-2015シーズン(平成26年12月26日発令)以来となります。

流行情報に注意していただき、一人ひとりが、手洗いや咳エチケットの励行など、インフルエンザ予防対策を、より一層心がけてください。

今後、定点あたり30人以上で流行警報を発令します。

(感染症発生動向調査は、月曜から日曜日までを集計し、翌週金曜日に発表しています。インフルエンザのみ、流行期は水曜日に速報値を発表します。)

県民の皆様、インフルエンザ予防対策の実践をお願いします。

《かからないために》

- こまめに手洗いをしましょう。
- 人混みや繁華街への外出を避けましょう。
- 十分な休養とバランスのとれた栄養をとりましょう。
- 室内は適度な湿度(50～60%)に保ち、乾燥に気をつけましょう。

《人にうつさないようにするために》

- 咳やくしゃみのある時は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りから顔を背け1～2m離れましょう。
- 使用後のティッシュは、蓋つきのゴミ箱にすぐ捨てましょう。
- 口や鼻を押さえた手や腕は、よく洗いましょう。
- マスクは鼻と顎まで覆い、隙間のないように正しくつけましょう。
- 外出はできるだけ控えましょう。

《医療機関を受診する時の注意点》

- 具合が悪ければ早めに受診しましょう。
- 受診する際には、必ずマスクを着用してください。

《高齢者や乳幼児、基礎疾患のある方など》

- インフルエンザにかかった時に重症化のリスクが高いといわれています。
あらかじめ、かかりつけの医師と発症した時の対応を話し合っておきましょう。

《予防接種》

- インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度おさえる効果や、重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基礎疾患のある方など、重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられます。
- ワクチン接種を希望される方は、あらかじめ医療機関に連絡のうえ、接種してください。

○インフルエンザの患者数について
 ※インフルエンザ定点医療機関数 47医療機関

	香川県 今シーズン		全 国 今シーズン		香川県 昨シーズン	
	患者数	定点あたり 患者数	患者数	定点あたり 患者数	患者数	定点あたり 患者数
第42週(10月14日～10月20日)	4	0.09	3,558	0.72	4	0.09
第43週(10月21日～10月27日)	18	0.38	3,954	0.80	11	0.23
第44週(10月28日～11月3日)	19	0.40	4,708	0.95	24	0.51
第45週(11月4日～11月10日)	12	0.26	5,090	1.03	30	0.64
第46週(11月11日～11月17日)	18	0.38	9,129	1.84	29	0.62
第47週(11月18日～11月24日)	25	0.53	15,438	3.11	39	0.83
第48週(11月25日～12月1日)	60	1.28	27,393	5.52	97	2.06
第49週(12月2日～12月8日)	68	1.45	47,200	9.52	188	4.00
第50週(12月9日～12月15日)	256	5.45	77,425	15.62	335	7.13
第51週(12月16日～12月22日)	547	11.64			402	8.55

	基 準	今シーズン	昨シーズン
流 行	1人/定点あたり	令和元年12月6日宣言	平成30年12月7日宣言
流行注意報	10人/定点あたり	令和元年12月25日発令	平成31年1月9日発令
流行警報	30人/定点あたり (継続基準 10人/定点あたり)		平成31年1月23日発令